

「戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)」新規採択課題

(別紙)

【ICTイノベーション創出型研究開発】

課題名	研究代表者	研究分担者	概要	期間
医療サービスの継続性を担保する電子カルテ秘密分散バックアップ技術の研究開発	木村 映善 (きむら えいぜん) (愛媛大学)	松村 泰志 (大阪大学) 山下 芳範 (福井大学) 平松 治彦 (兵庫医科大学) 桑 直人 (京都大学) 佐藤 敦 田中 大介 (NRIセキュアテクノロジーズ(株))	本研究では各情報断片からの情報復元を不能にすることで、個人情報情報の漏洩から守る秘密分散・秘密計算技術を使用した分散バックアップシステムを開発する。複数の医療機関が相互に計算機資源を提供して、秘密分散技術を用いて分散多重保存することで、個人情報の安全性を担保し、かつ単一障害点を有しない相互医療情報バックアップ環境を実現する。また、秘密計算処理を用いて、個人情報を保護した上で緊急時のサーベイや集計処理ができることを確認する。医療機関に接続された複数のネットワークとOpen Flow技術を利用し、災害によるネットワーク障害からの速やかな回復手順を確保する仕組みを開発する。	3年

【地域ICT振興型研究開発】

課題名	研究代表者	研究分担者	概要	期間
チーム医療および地域医療機関間の情報共有を便利にするための精神科アウトカム管理システム(PSYCHOMS®)の標準化と市販化のための研究開発	谷岡 哲也 (たにおか てつや) (徳島大学)	安原 由子 川西 千恵美 (徳島大学) 宮川 操 (徳島文理大学) 福田 彰 四宮 亜紀 (四国システム開発(株))	医療における電子システムが進む一方で精神科専用のものは未だ開発されていない。一般診療科と比較して医療職の人員配置の少ない問題を補う電子管理システムを目指す。具体的にはクリニカル・パスにプログラムされたとおり実施できなかったバリエーションの自動分析システム、看護日誌管理システム、看護計画システムを統合した精神科アウトカム管理システムを研究開発する。精神科領域では特に電子化が遅れているため、実態調査を行うことによって精神科領域に特有なデータベースの内容を同定する。そして精神科ケアサービスの向上を目指してより多くの精神科病院の医療・福祉チームおよび患者とのコミュニケーション、また施設間のコミュニケーションに役立つシステム開発を行う。	2年
地域の魅力の再発見と共有に基づく街体験型サービス技術に関する研究	杉野 静弘 (すぎの しずひろ) (株)エス・ピー・シー	相原 健郎 (国立情報学研究所) 田名部 弦 (株)エス・ピー・シー	サービス利用者の満足度向上と回遊性向上をもたらすコンテキストウェアなユビキタスサービスの具体的な構築法の提案と、ユビキタス情報サービスのための各要素技術の開発を行う。具体的には、コミュニティ知識獲得、個人の行動ログからのコンテンツ作成、および、個人の嗜好モデル化とユーザの心的状況(感情や気分等)に基づく情報提供、の各技術の開発を行う。地域経済活性化への寄与を目指し、旅行者と地域住民双方で作り上げていくコンテンツサービスを実現する。	2年
「救荒植物(災害時食糧備蓄となる植物)」栽培適地評価システムと森林資源をリアルタイムに公開する地域基盤情報システムの研究開発	高木 方隆 (たかぎ まさたか) (高知工科大学)	菊池 豊 渡辺 高志 (高知工科大学)	高知工科大から見渡せる山地森林斜面を実証フィールドとして、伐採跡地のテレメトリーや、各種センサーによる環境要素の調査を行い3次元モデル化を図る。高知県内で古来食経験を有し、災害時備蓄として有用な植物を選定し、とくに、日用食材として商品化の可能性も高い、食用カンナなど数種を重点調査対象として、自生地分布や食文化などをGIS上にプロットし、これらの生育適地要素を抽出する。適地要素と環境要素の重ね合わせにより、栽培適地選定の方法論を確立する。	1年